

平成23年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市小針野球場（有料）		
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区小針1丁目5番1号		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 25,935㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） グラウンド 11,752㎡ 両翼 90m 中堅 120m 内野：クレー 外野：天然芝		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
 B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
 C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	・月間HP等による情報提供更新 1回以上	・HP毎月1回更新	B	目標達成
	基準利用者数の達成	・1万人以上	平成23年度利用者数：8,792人	B	概ね達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情、要望には14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアルの職員周知	・適切に対応している	A	適正である
財 務	利用者1人あたりのコスト削減額	・前年度よりも削減 (区内管理施設全体)	・平成22年度 500円/人 ・平成23年度 662円/人 ※避難所のため閉館期間あり	—	震災の避難所開設による施設閉鎖期間があったため、今年度は評価外
	使用料収入の達成	・(免除料金を含む)使用料が年間 1350千円以上	1,462,500円	B	目標達成
業 務	人身事故に関するもの	・補償を伴う事故発生件数0件	人身事故無し、AED使用無し	A	目標達成
	臨時休業時間	・指定管理者の管理運営責任での臨時休業日0日	臨時休業(閉館)無し	A	目標達成
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業計画書、事業報告書の提出×切厳守	・適切に対応している	A	適正である
	安全確保体制の確立	・危機管理マニュアルの職員周知 ・開館前の始業点検、閉館時の終業点検及び閉館中の定期巡回など安全対策の実施	・危機管理マニュアルを業務マニュアルとして全員所持 ・始業点検・終業点検・閉館中の巡回実施	A	適正である
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・災害発生時の対応マニュアル(非難の誘導や蘇生対応等)の職員周知 ・事件、事故対応訓練や講習を年1回以上実施	・災害対策本部要綱、非常配備体制に関する基準及び職員の災害時対応手帳運用ガイドライン規定 ・消防訓練実施 ・防犯及び防災講習を年1回実施	A	適正である
	関係法令の遵守	・個人情報の取り扱いに関するマニュアルの職員周知	・個人情報保護規定 ・個人情報保護に関する研修実施	A	適正である
	守秘義務の徹底	・機密情報の取り扱いに関するマニュアルの職員周知	・法令順守要綱、法令順守に関するガイドライン及び情報管理要綱 ・コンプライアンス研修実施	A	適正である
	業務基準書等に定める事項の遵守	・業務基準書等に定める事項の遵守	・適切に対応している	A	適正である
人 材	配置人員条件の充足	・業務基準書に定める適切な職員配置	・適切に対応している	A	適正である
	知識や技能の向上	・業務実施マニュアルの職員周知	・適切に対応している	A	適正である

総合評価(所見)

指定管理業務基準書に基づき適性に管理されている。
 今年度はみどり森の運動公園野球場が完成し、利用動向が注目されたが、結果的にうまく棲み分けがなされ、利用者数は減ったものの、利用件数、使用料収入は前年度を上回るなど、引き続き需要の高さが伺えた。
 また、グラウンド面は整備が行き届いており、管理状況も良好と判断できる。
 今後も施設の老朽箇所など、日常の施設点検をしっかりと行い、利用者の安全に十分留意した管理運営を継続してもらいたい。